

むかしむかし、とある村に、^{むら}とある村に、^{やたろう}矢太郎という ^{おとこ}男がいました。

^{やたろう}矢太郎はまだ若いのに ^{ろくに}ろくに ^{はたら}働きもせず、^{まいにちらく}毎日 ^{楽しむ}楽しむことばかり ^{かんが}考えていました。

ある日、^ひ矢太郎が、^{はやし}林の中を ^{さんぽ}散歩していると。

「ん、なんだ？ ^{しげ}茂みの向こうから、^{はな}話し声 ^{きこ}聞こえるぞ」

^{やたろう}矢太郎が ^{こえ}声のする方を ^{ほう}のぞいて ^み見ると、^{すうひき}そこでは ^{数匹}数匹の ^{きつね}きつねたち ^{あつ}が集まって、^{はな}なにやら ^{話し}話しをしていました。



5

なんときつねたちは、いかに上手に化けるかを競う、化け比べをしていたのです。

きつねたちは、子どもに化け、馬に化け、まんじゅうに化け、ちやがまに化け。

みんな中々上手いものです。

(ほうほう、こいつはまたみごとなもんだ・・ん、さてよ、あいつらを利用して、一発ドカンともうけらんねえかな・・)

やたろう かんが
矢太郎はそう考えました。



Once upon a time, there was a man named Yataro in a village.

Yataro was a young man, but he never tried to work hard. He just wanted to live an easy life.

One day, Yataro was taking a walk in a forest.

“Huh? I hear someone talking behind the bush.”

Yataro took a close look. There were some foxes gathered around chatting.



3 1

Guess what? The foxes were competing against each other to see who was the best shape-shifter.

The foxes were shape-shifting into little kids, horses, manju, and into tea kettle.

Everyone was doing quite well.

And Yataro thought,

(Uh-huh, they are pretty good…… Oh, wait a minute, maybe they can help me make a lot of money……)

